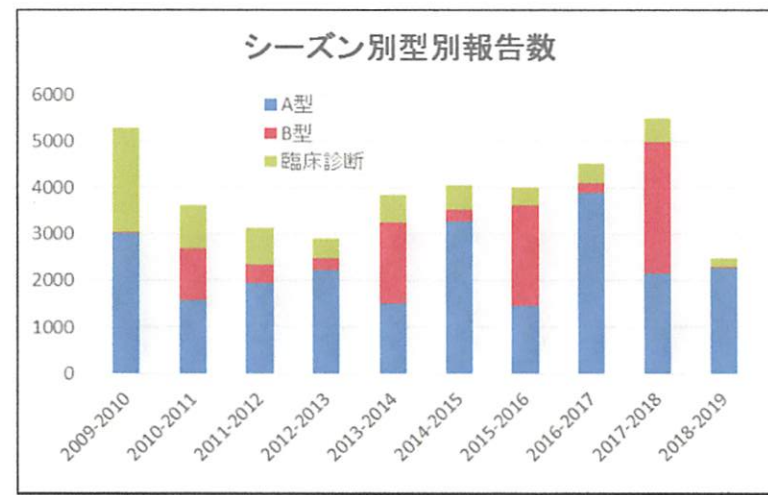
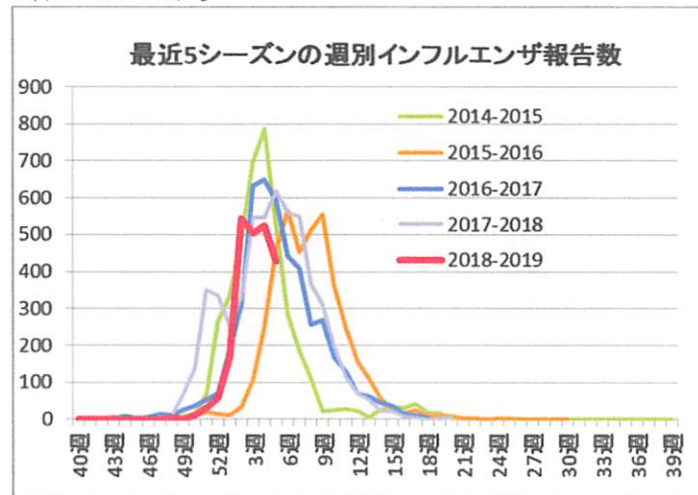
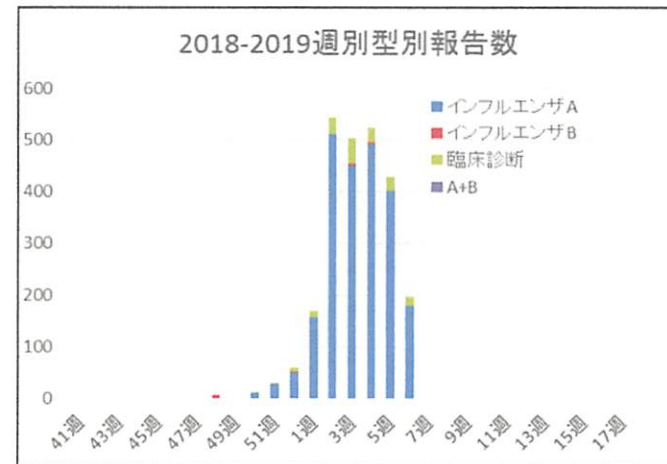


# 週間感染症情報

2019年5週 2019年1月28日より2019年2月3日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	15
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	53
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	
伝染性膿痂疹(とびひ)	2
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	3
RSウイルス感染症	2
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	429
インフルエンザA	401
インフルエンザB	1
ヒトメタニューモウイルス	

インフルエンザAの流行はピークを超えたようです。インフルエンザBの報告は1例のみで、今シーズンはBの大きな流行はなく、2016-2017シーズンの流行に似ています。岡山県の1月までのインフルエンザウイルス検出状況ではAH1pdm 11例、AH3 11例、B(山形系統)2例で、1月になりAH3(香港型)の報告が増えています。今後インフルエンザAに2回り患するというケースがあるかも知れません。右のグラフは2月7日までの報告数です。6週は、196例と減少しています。溶連菌感染症の報告が増えています。発熱と咽頭痛が主で感冒症状は認めませんが、インフルエンザとの合併例もあります。発熱が長引く場合は、鑑別する必要があります。ノロウイルスによると思われる、嘔吐を主とする胃腸炎の報告が増えています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)